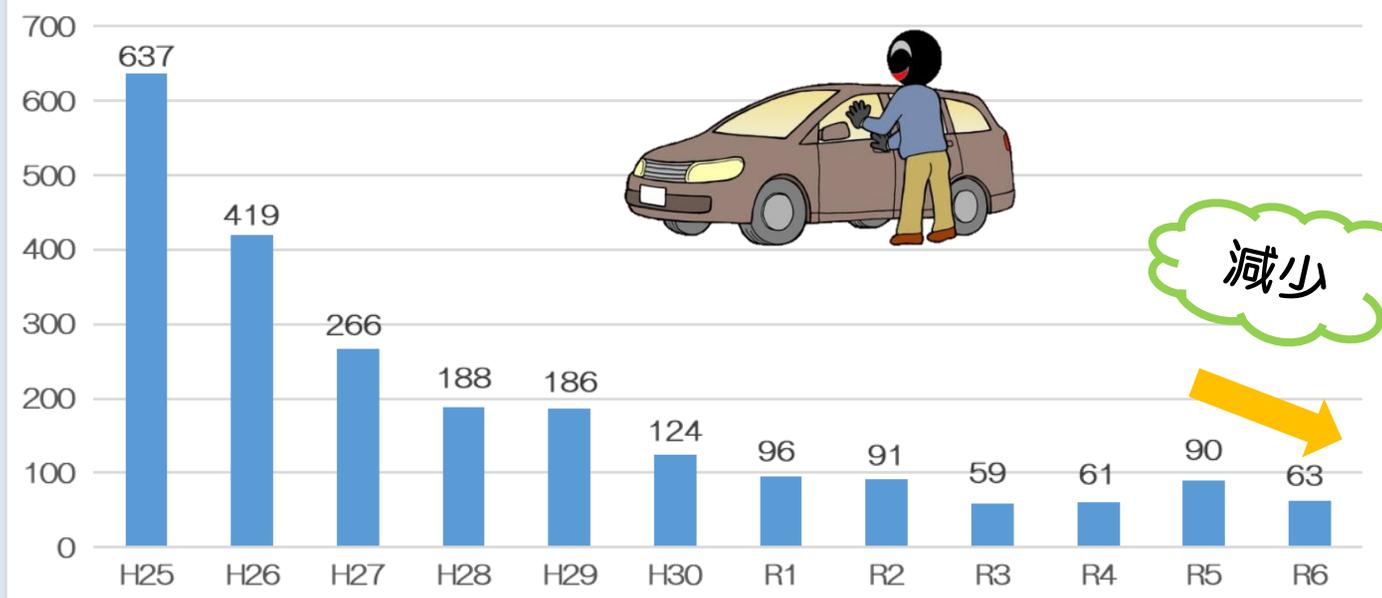


自動車の防犯対策

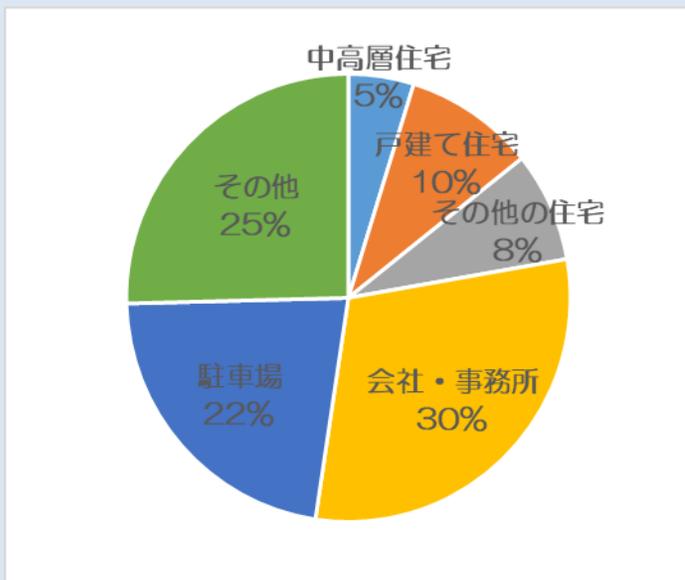
自動車盗の認知件数



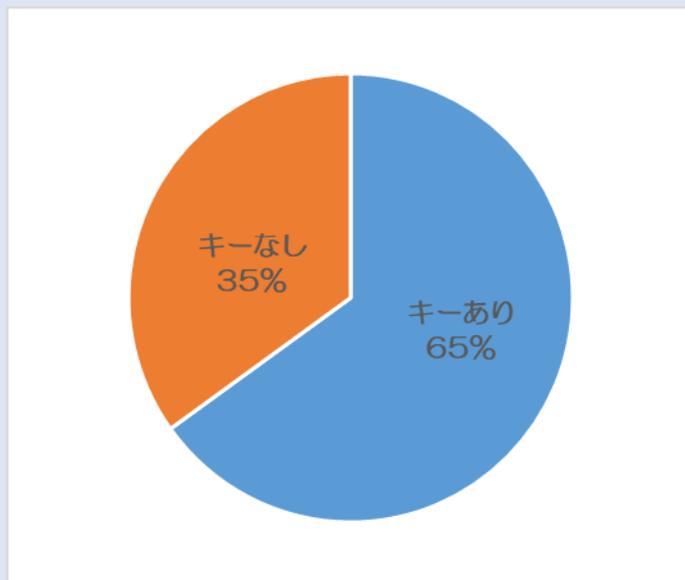
○ 自動車盗の発生状況

令和6年中の福岡県内における自動車盗の認知件数は、**63件**で令和5年と比較して、**27件減少（30%減少）**しました。

○ 自動車盗の発生場所状況



○ 自動車の施錠状況



被害のうち、
約5割が、中高層住宅・戸建て住宅・その他の住宅、会社・事務所となっています。

被害のうち、
約6割が、キーあり
約4割が、キーなし
の状態で盗難の被害に遭っています。

※中高層住宅～4階建以上の住宅
※その他の住宅～3階建以下の集合住宅

※「キーあり」
エンジンキーがメーンスイッチに差し込まれていたか、運転席又はその付近に放置されていたもの

盗難防止装置の活用

○ 固定装置（タイヤロック・ハンドルロック）の活用

犯人は、犯行時間がかかることを嫌う傾向にあるため、「タイヤロック」や「ハンドルロック」等の物理的に車両を動かさない状態にすることで、犯人に犯行を諦めさせることができます。



○ GPS機器等の設置

万が一、車両を盗まれた場合、車両の位置を知らせるGPS機器等を車内に設置していれば、早期に車両を発見でき、被害回復につながります。



盗難機能防止搭載車の推進

○ イモビライザーの搭載

専用キーから発信される複雑な暗号（IDコード）を車両本体内のコンピュータで照合し、IDが一致しないとエンジンがかからない装置です。

専用キーにトランスポンダ（送信機）のIDコードが埋め込まれているので、鍵の偽造が難しく、単に鍵山の形状が同じ鍵を作ってもエンジンをかけることができません。

車両を購入する際は、イモビライザーが標準装備されている車を選ぶことをおすすめします。



他にも、カーアラーム（警報装置）、車両カバー、防犯カメラ、センサーライト等の設置により、被害に遭いにくくなることが期待されます



車両周辺で不審な人物を見かけた際は、警察への110番通報をお願いします！！

